

胎児の人権宣言

- 前文 人間ひとりひとりが、受精の瞬間から自然死にいたるまで、生来の尊厳と固有の価値を有するので、今日我々は公けに以下の六ヶ条の宣言に同意する。
- 第一条 我々は、胎児ひとりひとりが、受精以後の発育のすべての段階において、人間であるという科学的事実を確認する。
- 第二条 我々は、本宣言に定められている権利を、人種、胎児年齢、性別、国籍、宗教、社会・経済的出自（生まれ）、障害の有無、その他のいかなる理由によっても差別することなく、尊重する。
- 第三条 我々は、胎児が、1948年の国連の人権宣言に述べられている胎児以外のすべての人間の基本的権利と同様の権利を有することを確認する。我々は、この権利が立法によって認められることを要求する。
- 第四条 我々は、胎児ひとりひとりが良好な胎内環境で発育する権利を有することを認める。この環境には出産までの母親の適切な保護と両親への支援を求める権利が含まれなければならない。
- 第五条 胎児が、受精の時から、科学的、医学的、または医学的実験や利用に供されない権利を有することを確認する。ただし、この実験や利用が胎児に直接役立つ場合を除く。
- 第六条 我々は、胎児の発育とそれに関する諸問題についての科学的事実の教育の推進に努める。また我々は、女性が子どもを産み育てるのを難かしくしている社会的、経済的ならびに法律的諸条件の改善に努める。
- 結び 以上にかんがみ、我々はすべての国際団体、政府、組織、ならびにすべての善意の人々が、ここに含まれる各箇条を公認し、実行するように強く奨める。



日本の生命尊重の日は7月13日です。

1991年
国際生命尊重会議
東京大会

上記の『胎児の人権宣言』は最初、国際生命尊重会議オスロ大会で取りかかられましたが、完成せず、一九九一年四月二十七日に東京大会で採択、調印されました。そして、この日が『生命尊重世界の日』となりました。

『日本の生命尊重の日』は七月十三日で、一九四八年のこの日に優生保護法が施行された日なのです。優生保護法の名のもとに、いのちを奪われて行く胎児がなくなること願って、この日を日本の生命尊重の日としました。現在、その法律は、母胎保護法と名前こそ変わりましたが、胎児の人権は相変わらず認められず、最新の記録によると、平成十三年の全国中絶件数は、三五一五八八となっているけれど、これは届け出数なので、実際には三〜五倍と言われていると。

二〇〇四年四月三日の毎日新聞の紙面によると、アメリカでは、胎児は独立した人格と位置づけられたと報じられました。新法は「子宮の中にいるすべての成長段階の胎児」と定義されているので、受精直後から法的に守られることとなります。

最後の人権と言われる「胎児の人権」が真に日本で認められるのはいつの日でしょうか。早くその日の来ることを祈らずにはおられません。

10代のセクシャリティクライシス

今、静かなる緊急事態がおきている

私は、婦人科臨床医として、この数年間の10代の性感染症（クラミジア、ヘルペスなど）の激増を目の当たりにし、戦慄を覚えるほどの深い危機感を持っている（1）。「都内山手線環内のエイズ感染の罹患率はすでにアメリカを超えている」という国立国際医療センターの岡先生の報告は、私の恐れていることが現実的なものであることを示している（2）。昨年、私は順天堂大学医学部主催の「性感染症と若者の性行動に関するシンポジウム」に招かれたが、シンポジストとして同席された京都大学大学院の木原正博教授（エイズの疫学）は、「ネットワーク化する若者の性行動」と題して驚くべき報告をされた。今、若い世代では、男女とも同時に多数のパートナーとつき合うことが半ば常習化しつつある、というのである。そして、木原先生は、「このような若者の性行動の変容によって、近い将来、日本でエイズエイズが大流行するだろう」と警告された。まさに今、日本に静かなる緊急事態が起きているのである。

なぜ、10代の性行動はこのように急激に変化したのであるのか？

日本では、1980年代なかばからテレクラやヘルス、ポルノビデオ、ポルノコミックなどの性風俗産業が急増し、急速に「性の商品化」がすすめられた。それと相俟って、「性の自己決定権」や「コンドームなど安全な性行為」を教えることを主眼とした性教育が推進された（safe sex message）。これが、若者の性行動に劇的な変容をもたらす大きな要因となった。スタンフォード大学教授で世界的な心理学者アルバートバンテューラ博士は、「子ども達は自らが所属している社会の規範に従って行動する」と言っているが（3）、この15年間で、まさにその通りのが起こったのである。

えが止まらないと切実に訴えていた。10代の子ども達をここまで追い込んでしまった社会的、思想的背景を探ってゆくと、「人間の価値」に対する、現代のわれわれの思想的混乱が見えてくる。

10代の子ども達にエビデンスに基づいた性教育を
東京都立大学助教授の宮台真司氏は、自由意志で行う単純売春（低年齢は除く）を合法化し、13歳以上には、性的自己決定権を認めて、当たり前性交することを前提とした性教育プログラムを推進しようという、驚くべき呼びかけをしている（5）。また、村瀬幸浩氏（一橋大学、津田塾大学講師）が代表幹事をしている、「人間と性」教育研究協議会は、「科学と人権」に基づいて、積極的に子供達の「性の自己決定権」を支持する性教育プログラムを提案してしてきた。そのテキストの一部を紹介したい。「あなたが、いつ、だれと性交するかは、親や教師の決めることではなく、あなた自身がしっかりと決めることです……一人で生きていく中で感じられた寂しさは、時には肌恋しい気持ちになります。そんなときに、肌のぬくもりを通して、二人で生きていることを実感できれば、そこには強いパートナーシップもできあがるでしょう。まさに愛撫をともなった男女の抱擁は、とても大切なとっておきのコミュニケーションなのです。ここまで進んできたコミュニケーションとしての触れ合いは、性交という行為に近づきま

す」（6）。村瀬幸浩氏においては、人間の性は、「快楽」と「コミュニケーション」の道具である、という思想が徹底しており、人格的な部分やspiritualな要素は完全に排除されている（7）。

1982年以来、文部省は積極的に性教育の推進を呼びかけてきたが、宮台真司氏や村瀬幸浩氏らの性教育思想が学校教育の現場に与えてきた影響は、決して小さくはない。しかし、それは、児童精神医学、性感染症学、心理学、宗教学、哲学などの諸学のエビデンスに基づいた性教育とは、と

うてい思えないものである。未熟な性的体験（premature sexual activity）が非常に危険な行動であり、アルコールやドラッグ依存に結びつきやすいということは、今や世界的コンセンサスとなっている（8）。また、アメリカ人の評論家カリーイ

トーマス氏が「コンドームは安全、などというメッセージは本当の脅威を覆い隠す偽薬にすぎない」と言っているように（9）これまでの「安全な性行為」を教える性教育（safe sex approach）のあり方が、本当に有効であったのかということも厳しく問われている。U.S. Department of Health and Human Servicesでは、欲望をコントロールする「性教育プログラム（Abstinence-based education, ABE）」に対して、1998年から2002年までに、年に5千万ドルを52の州に与えようというプロジェクトを、現在進行中である（10）。現在アメリカでは「安全な性行為を教える性教育」-「safe sex approach」が有効ではないことが認識され始めており、それにかわって、A.E.が採用されつつある。10代のエイズ感染が深刻な状況にあるアメリカでは、政府の予防政策が大きく変わりつつあるのである。これらの変化は、公衆衛生学的なエビデンスにもとずいた、極めて妥当なものと評価できよう。日本では考えられない、迅速な「性教育」の転換である。

今、人間の価値を教える「ホリスティックな性教育」が求められている

13才の子どもにも自由に性交す

十代の性

(40)

質問: 彼は変わってしまったようです! つきあいだして三ヶ月間は、常に完璧な紳士だったのに。先週キスを許したら、今夜は「私とセックスしたい」と迫ってきたのです。



平和を破壊するいちばん恐ろしいものは墮胎です。なぜなら、子どもを殺すのはその子の母親自身だからです。…若い女性達は両親を恐れ、世間の人々を恐れるあまりに、墮胎することがよくあります。でも彼女たちを助けなければなりません。

(マザー・テレサ)

答え: 体が触れ合う段階まで交際が進むと、欲望が抑えがたくなります。体が触れ合う喜びが増すと、さらに喜びを高めようとセックスへの欲望も強まります。男女の性欲はかなり異なり、女の子から見たら、男の子はなぜあんなにすぐ興奮するのかわからないでしょう。愛情を体で表現する際

も、男女で表現の仕方が違い、女の子は自分の感覚を基準に相手の気持ちをつかむこともできません。女の子が一緒にいるだけで満足し、嬉しくて仕方ない時、男の子の中では性欲のスイッチが「点灯」し自制心を失う寸前ということもあり得ます。そんな彼の愛情表現を彼女が受け入れたならもつと先に進んでいいと彼女も思っている、と彼が誤解しかねません。彼の勘違いを責めてはいけませんし、同時にあなたが彼に「ブレーキを踏ませる」力を持つことも自覚して下さい。彼との交際をどんなふうに変えていくかを決められるのはあなたです。自分と彼とでは感じ方が違うのを忘れず、彼を刺激するような状況を避けることで彼を助けることができま

(2ページから)

る権利を認めようという、日本の「性の自己決定論者」の誤りは、「コンドームは安全である」という、医学的には正しくない基盤に立っていることである。アメリカでは今、その誤りに気づき、「安全な性行為を教える」ことを主眼とした性教育のあり方が根本的に見直され、「自己抑制型」や「家族や人間の価値を教える」性教育の導入が真剣に考えられている。ロンドンタイムスの Danian Whitworth は、このようなアメリカの性教育事情を次のように報告している。「10年前なら一笑に付された「欲望をコントロールする」性教育プログラム(A.E.)であるが、現在では、アメリカの性教育プログラムの三分の一はA.E.であり、子ども達が、このようなメッセージを聴く機会が与えられたことは歓迎すべき事である」(11)。また、1997年のUSA Todayによれば、二万八千人の世論調査の結果でも56%の成人がA.E.を支持し、「安全な性交の推進 safe sex message」が最も良い性教育である場所を避け(彼に対して「いいまでならOK」とはつきり意志表示しましょう)。



ると考える人は31%に過ぎなかったという(12)日本の性感染症の蔓延はすでに危険レベルに達している。無責任なメディア、性風俗産業の市民社会への侵食、極端な「性の自己決定論」に基づく誤った性教育が、どれほど若者の心と身体を蝕んでいるか、今、真剣に議論されなければならぬ。日本における性教育の創始者であった、内村鑑三門下の公衆衛生学者星野鉄男博士(金沢大学医学部(現)初代衛生学教授)は性教育の根幹を「快樂志向」ではなく「価値を志向する」ことと求めた(13)。博士の言葉は、今日においても真理である。子ども達は、性的な問題よりもはるかに「生きる意味」や「価値を創造する」ことを探求しているのである(14)。

* 富永国比古、世界12月号、岩波書店、2000年
* 岡慎一、性と健康、2000年11月号
* Albert Bandurra, Social Foundations of Thought & Action: A Social Cognitive Theory, Prentice-Hall, Inc., 1986
* アメリカで60年代後半から70年代にかけておきた sex revolution は、アランプールームによって、厳しく批判されている。アランプールーム、アメリカンマインドの終焉、1987年、みすず

書房

* 宮合真司、性の自己決定 原論-援助交際、売買春、子ども性の紀伊國屋書店、1998
* おとなに近づくと、東京書籍
* 第18回日本思春期学会、Medical Tribune、9/23/99
* Kay LE、Adolescent sexual intercourse: Strategies for promoting abstinence in teens Postgrad Med, 1995 Jun, 97:6, 121-7, 132-4 (Or DP; Beiter M; Ingersoll G: Premature sexual activity as an indicator of psychosocial risk.: Pediatrics, 1991 Feb, 87:2, 141-7
* Cal Thomas, "Free Love Is a Free Ride to Destruction," Los Angeles Times, 11 November 1991, B11
* A National Strategy to Prevent Teen Pregnancy ANNUAL REPORT 1998-99
* The London Times Thursday Dec. 16, 1999
* National Coalition for Abstinence Education P.O. Box 536 / Colorado Springs, CO 80901-0536 (719) 531-3492
* 伝記叢書星野鐵男、大空社、1994
* V・E・フランク、生きる意味を求めて、諸富祥彦監訳、春秋社、1999
富永 國比古
ロンドンタクリニック院長
Dr.P.H.(米国公衆衛生学博士)

日本プロ・ライフ・ムーブメント事務所

〒780-0862 高知市鷹匠町 2-1-33

(新住所です)

電話 / Fax : 088-873-3619

e-mail: prolife@i-kochi.or.jp

http://www.japan-lifeissues.net

For English Speaking People / evening: Tel/Fax: 088-843-0406 Email: jerry@star.quolia.com

事務所時間:

月	金	10:00	—	17:00
土	曜	日		休
日	曜	日		休

会員募集

寄付: 十万円 五万円 三万円
 一万円 五千円 一千円

あなたの寄付はまだ生まれていない赤ちゃんを守る運動のため使用させて頂いております。私たちと一緒に小さいいのちを大切に育みましょう。

御送金

銀行: 四国銀行朝倉支店

口座番号: 0573553

日本プロ・ライフ・ムーブメント

郵便局: 「郵便振替」

口座番号: 01660-5-39607

日本プロ・ライフ・ムーブメント

事務所便り

今は、高知市を流れる鏡川の堤防の桜は葉桜となり、五月晴れの空に葉っぱが揺れて、反対側にはつつじの赤と白の花が顔を出し、一番美しい季節です。お元気で過ごしましょう。

前回の事務所よりお知らせ致しましたように三月二十五日、東京の順天堂大学で開かれた第74回日本衛生学会に参加致しました。三人の講師のお話がありました。最初は池上千寿子様(NGO 法人)が、いす東京 (代表) で、この方は私たちの運動の趣旨とちがって、コンドームの必要性を話されました。次にお話なされたのは今回、このプロ・ライフ ニュース(p2、p3)のためにも記事を頂いた富永國比古先生で、今の性教育に危機感を感じておられ、『公衆衛生学と教育学の統合としての性教育』と題して話されました。そして、その日の夕方からのキリスト者の集いを名古屋の眼科医・平田國夫先生と開いて下さった方でした。最後にお話されたのは、モーツアルトの『魔笛』のオペラを通して、人間の尊厳を話された、兵庫県立看護大学・哲学の石井誠士先生です。

夕方からのキリスト者の集いでは、東京大学大学院教授・国際地域保健学 若井晋先生の世界的な視野にたつての貧困、差別、戦争や性感染症について、国際キリスト教大学教授・教育学 町田 健一先生の大学での性教育について、福島学院大学教授・児童精神科 星野仁彦先生の10代の性と性的トラウマなどについて語って頂きました。参加者も当初の人数を大幅にこえていました。それぞれの立場で奉仕しておられる大勢の皆様が集まったこのような会に出席でき、大きな刺激を受けました。もつとゆっくり、じっくり各先生方のお話を伺いたいと思うほどの内容の濃いものでしたので、これから順次、記事のお願いをして行きたいと思っています。

(日本プロ・ライフ・ムーブメント)

中絶後の救助活動増加中

ロサンジェルズ・タイムズ誌は近頃ある女性のストーリーを掲載した。その女性は、一九二〇年代に中絶しており、現在八十才という老齢ながら、「いまだその経験から立ち直れない」ため、助けを求めているという。ローマ・カトリック教会管区のロサンジェルズ支部を拠点とするレイチエル・プロジェクトが救助の手をさしのべた。レイチエル・プロジェクトとは、その地方の教会及びクライシス・プレグナンシー・センターによって組織されている目下急増中のプロジェクトである。

過去二十五年間同様の中絶後の救援活動をしてきたエリザベス・シーガルさんは、タイムズ誌のレポーターにこう語った。「ほとんどの女性にとつて、中絶をするべきか否かという問題に直面する時というのは、家族やボーイフレンド、御主人等の助けが得られないと感じた時なのです。彼女達は妊娠という状態から単に抜け出したいだけです。赤ちゃんのことは一言も語られません。中絶すると、そのすぐ後には安心感が得られますがそれから徐々により大事なことに気づき始めるのです。」

自分自身中絶を経験したという別のカウンセラーは、自分は中絶したのだと他人には語れぬ事実と共に生きることがどんなに辛いかを語ってくれた。例えば、オクラホマ市の連邦政府の建物爆破事件の人々の反応を取り上げた新聞記事は、彼女が中絶後のカウンセリングで出会っ

た女性達を思い出させるといふ。新聞にはある人のこんな言葉が載っていた。「子ども達が泣き叫ぶ声が聞こえるのに姿が見えないんです。」「私達も同じような思いなんです。」「と彼女は言う。

カウンセラーの経験によると、女性が救助を求めてくるまで普通五年程かかるという。カウンセラー達は教会の指導者らにもつと援助の手をさしのべよう呼びかけている。「女性が中絶の後遺症から回復するのを助けるのは、教会の役目です。」

同じような記事がシンシナイティーのある新聞に掲載されており、ヨハネ・パウロ教皇の「いのちの福音」より中絶した女性への一節を引用している。「もしまだそうしていないなら、神様の許しを信じて、自分の罪を徹底的に糾明し、回心しなさい。慈しみ深い神様はあなたの罪を許して、平和を与えて下さる準備があります。」

presbyterians pro-life news, fall1995

胎児と女性

二人の叫びに耳を傾けて

